

木もれびの森は全国的にも珍しい住宅地に隣接した雑木林（73ha）で江戸時代の新田開発により作られ大切に守られてきた森です。大都市近郊では他に類を見ない規模でクヌギ、コナラ、など約5万本の木々が森を作っています。1960年頃から燃料として薪、炭が使われなくなり15～20年ごとに伐採されてきた森も今では人の手が入らない暗い森になってしまいました。

この首都圏の奇跡といわれる貴重な財産である森を、豊かな森として後世に遺していくために平成13年、14年に開催された、相模原市主催の森林ボランティア講座の受講生により、木もれびの森の保全活動を実行するためのボランティアグループが結成され、主にみどりの協会の指導のもとに実地訓練が行われました。平成16年4月に独立し任意団体相模原こもれびを結成し平成17年、市のパートナーシップ事業が開始するに当たり平成18年11月に更なる活動の発展を図るためNPO法人相模原こもれびを設立し現在に至っております。

活動目的 3本柱

- ① 森づくりとその保全      ② 子どもの健全育成      ③ 自然保護の普及啓発

### 相模原こもれびの沿革

#### 年 賦

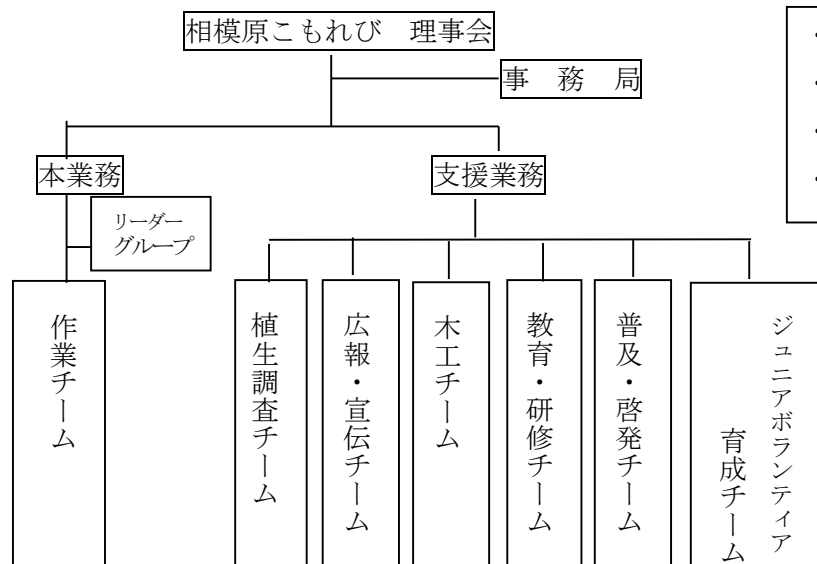
- ・ 2001・2002年（H13・14年）12月…第1・2期森林ボランティア養成員募集及び養成開始
- ・ 2005年（H17年）4月…相模原市とパートナーシップ協定締結
- ・ 2006年（H18年）11月…NPO法人「相模原こもれび」認可・スタート
- ・ 2008年（H19年）4月…神奈川県県民協働事業「定着型ボランティア」登録、活動開始
- ・ 2009年（H20年）4月…木もれびの森内県有地活動開始
- ・ 2010年（H22年）5月…第21回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞
- ・ 2011年（H23年）9月…第3回「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」選定  
10月…第31回「緑の都市賞」都市緑化機構会長賞受賞

### 人員・経費の推移

年 度	在籍人員	概略年間経費	備 考
2008年	68	1071千円	花王助成金授受
2009年	67	729千円	
2010年	68	681千円	
2011年	70	585千円	百選助成金授受
2012年	70	593千円	百選助成金授受・西部信金助成授受
2013年	71	1097千円	提案事業「木もれびの森ガイド」作成
2014年	73	449千円	
2015年	72	994千円	神奈川県もり・みず市民事業支援補助金授受

### 相模原こもれびの組織

#### 体 制 図



#### 役 員

- ・ 理事長・・・1名
- ・ 副理事長・・・2名
- ・ 理 事・・・8名
- ・ 監 事・・・2名



イヌシデ広場

## 年間活動内容

4 半期期間	作 業 内 容	備 考
4～6 月	下草刈、枯損木伐木、木工工作、植林	クレマチスフェアー他
7～9 月	下草刈、枯損木伐木、杭打、木工工作	夏期合宿
10～12 月	間伐、落葉かき、椎茸ホダ木作業、木工作業	オータムフェアー他
1～3 月	間伐、椎茸ホダ木作業、用具の整備、年度の締め	年間計画、総会

## 環境保全、普及啓発への取組み

「相模原こもれび」は神奈川県、相模原市および環境団体の主催する環境保全、自然環境保護の普及、啓発イベントに参加します。これらの催しでは、活動紹介のほか、木もれびの森で得られた間伐材を利用した木工作品や椎茸のホダ木の提供、子供達を対象としたクラフトやリース造りの場の提供、丸太切り体験の場の提供などを実施しています。

## 相模原こもれびの催し

「相模原こもれび」は独自の企画によるボランティア作業のための講習会や夏の合宿、親睦会などを年間を通じ実施しています。

秋には私たちの活動地域の近隣の皆さんに森の活動を知っていただくための「こもれびの森で遊ぼうよ!」を開催しています。

会員相互の親睦会はお互いを良く知り合う機会であり、この事により日頃の活動を健全に保つものと、積極的に実行しています。



## 作業の安全について

作業での安全が活動の中で最も重要な課題です。器具類による怪我や、スズメバチの被害、伐木時の事故など、あってはならないことです。

そのため「相模原こもれび」では安全のためのマニュアルを全員が所持し、安全の意識高揚に努めています。

特にチェーンソーによる伐採や刈払機による下草刈りは正しい使用ができるよう、作業にあたる人達は公の機関による、講習会での訓練を受けるとともに、作業の場では同伴者のお互いが注意、確認を徹底して作業するようにしています。

## 「相模原こもれび」のこれから

NPO法人としてスタートした現在、私たちは従来以上に広範な活動を期待されています。

相模原市に存在する森は市の合併により拡大しています。これら広範な活動を潤沢に進めるためにも、更に多くの仲間を育成し協力者を増やしてゆく必要があります。

現在は大野台公民館と手を組んだ将来の仲間でもある小中学生を対象にした、ジュニアボランティアの育成を年間を通して実施しています。

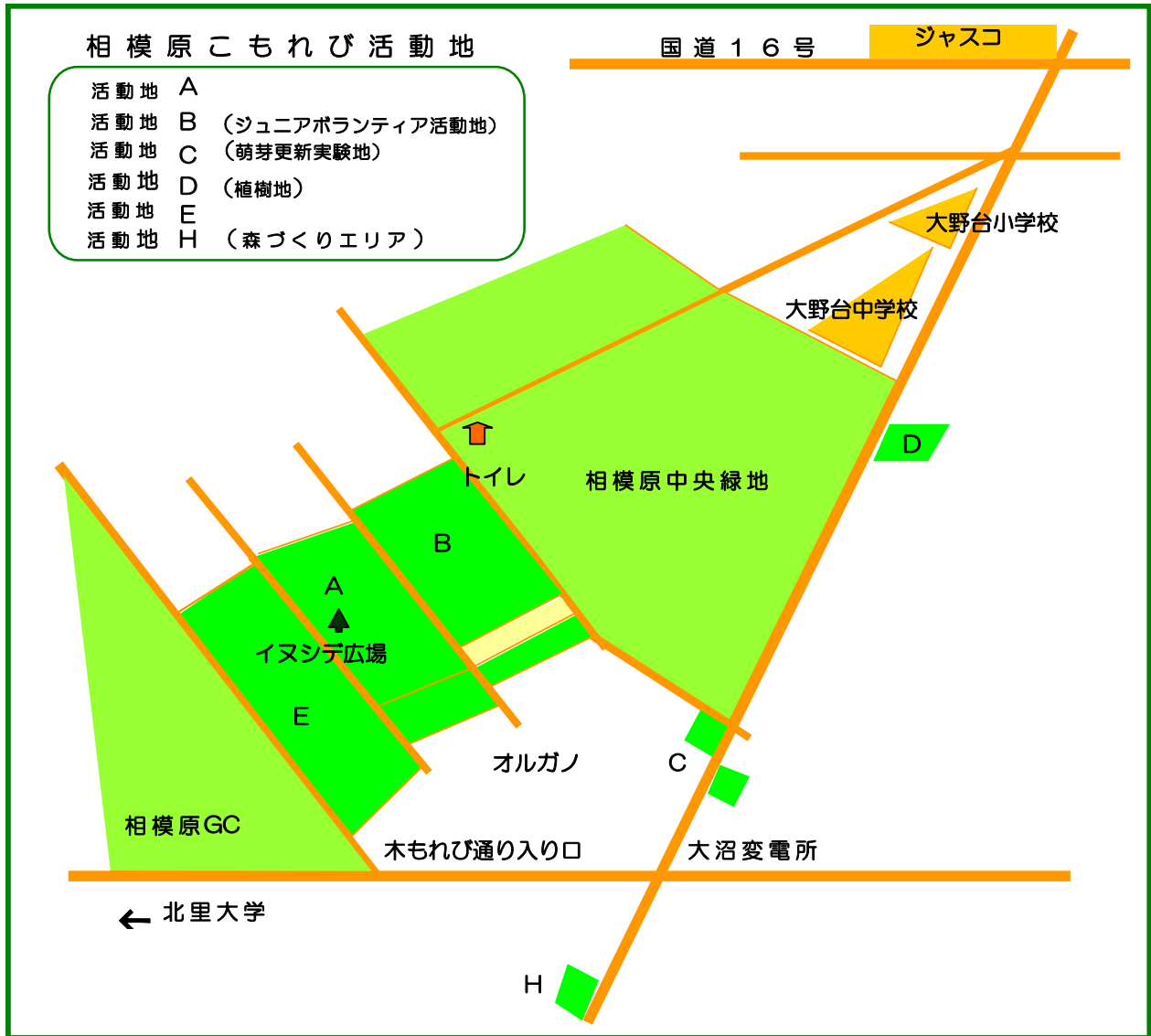
私たちが進める作業により、多様な生物が生息する豊かな森を創造すると共に、次の世代に故郷の森を守り育ててゆく精神を継承して行かなければなりません。多くの活動課題が目の前にあります。

## 木もれびの森

「木もれびの森」は市内の大野台、大沼地区に広がる73hrにおよぶ平地林で昭和46年4月に首都圏の自然環境保全のための「首都圏近郊緑地保全区域」に指定され、さらに昭和48年9月には市内でも特に良好な自然環境が保たれていることから「相模原近郊緑地特別保全地区」に指定されました。市街地のすぐ近くにある自然豊かなこの森を散策や自然観察、憩いの場所として大切にしていきたいと思います。

## 相模原こもれびの活動地

私たちは毎月、第2土曜日と第4水曜日の午前9時から午後3時まで、第3日曜日の午前中活動しています。



N P O 法人 相模原こもれび 理事長 高橋 孝子

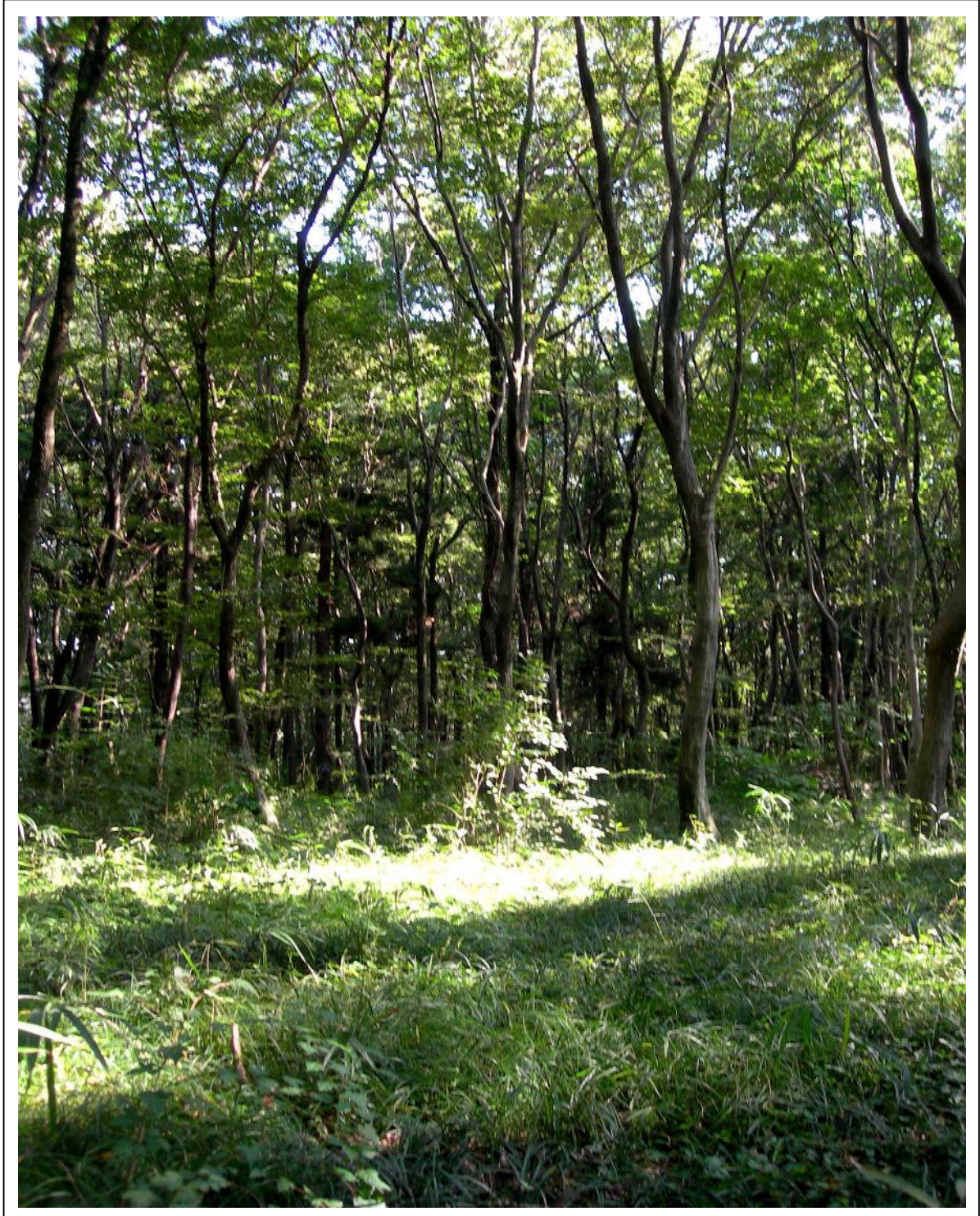
本 部： 相模原市南区東大沼 2 - 2 - 8 5

電 話： 0 9 0 - 4 6 2 9 - 4 8 4 3

ホームページ： <http://npo-komorebi.com/>



**豊かな森を創造する！**  
**それは私たちの喜びです**



**NPO法人 「相模原こもれび」**